

科目名				授業の種類	授業担当者	
音楽表現B指導法				演習	倉科深陽	
学科	学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	必修・選択
保育科	1	1	30	15	後期	選択
[授業の目的・ねらい]						
音楽表現A指導法の発展とし、幼児の音楽及び指導法についてより理解を深める。幼児教育者としての音楽的能力と感性を磨き、幼児と生活、幼児と音楽について具体的な事例を基に実践から学ぶ。						
[授業全体の内容と概要]						
表現領域の中で音楽が果たす役割について学び、指導法について深く理解する。また、今日の幼児音楽教育の実際を学びながら、自ら保育者となって模擬指導の経験を積ませる。そして教育実習において実証し、より深い指導法を学ぶ。						
[受講上の注意事項]						
<ul style="list-style-type: none"> ・次回までの課題を消化し、授業に臨むこと。 ・提出物は期限内に必ず提出すること。 						
[使用テキスト]			[評価基準]			
・幼児のための音楽教育 ・幼児の歌110曲集 ・はざとり式ドリル(リズム)・その他楽譜、プリント等			試験の実施、授業態度、提出物・レポート等による総合評価 授業・課題への取り組み・・・30% 提出物・・・30% 試験・・・40%			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]						
回	項目		授業内容			
1	グループ別模擬指導①導入		模擬歌唱指導・わらべうた・リミックスの研究について			
2	グループ別模擬指導②		各自が保育者となり、模擬指導の実施(歌唱指導) 後研究会、講評No.1～5			
3	グループ別模擬指導③		各自が保育者となり、模擬指導の実施(歌唱指導) 後研究会、講評No.6～10			
4	グループ別模擬指導④		各自が保育者となり、模擬指導の実施(歌唱指導) 後研究会、講評No.11～15			
5	グループ別模擬指導⑤		各自が保育者となり、模擬指導の実施(歌唱指導) 後研究会、講評No.16～20			
6	グループ別模擬指導⑥まとめ		模擬指導の実施(歌唱指導) まとめと課題			
7	教育実習について		先輩の報告書より課題解決に向けての学習			
8	教育実習について		報告書の作成と反省、今後の課題の発表			
9	わらべうた①種類		各自が保育者となり、模擬指導の実施(わらべうた指導) 後研究会、講評No.1～3			
10	わらべうた②遊び		各自が保育者となり、模擬指導の実施(わらべうた指導) 後研究会、講評No.4～6			

11	リトミック①年齢別	各自が保育者となり、模擬指導の実施(リトミック指導) 後研究会、講評
12	リトミック②体験型	各自が保育者となり、模擬指導の実施(リトミック指導) 後研究会、講評、まとめ
13	季節の歌・行事の歌	歌唱研究・指導法研究
14	歌唱法・伴奏法	音楽基礎知識、伴奏法、初見奏について 演習と発表
15	まとめ、補足	まとめと今後の課題